

穴銭 収集の手引き (二八)

光華 椿井琢光

同治通寶 寶桂局の背文銭 (圈星・○)・寶晋局・寶鞏局の無背銭

今回の寶桂局は、錢径は大きいですが、背文は(圈星○)だけのようである。しかし、それぞれの書式に微妙な違いがあり、見逃せず掲載する事にした。さて清朝錢の各局満文については、今年月刊『収集』六月号の二三頁から一六頁に早見表を掲載しているので、覚えて収集を楽しんでいただきたい。本項の最終枠に寶晋局と寶鞏局の無背銭を掲載した。相当な稀少品だけに入手は難しいと思うが、古い業者さんなら在庫をお持ちかも知れない。

七三 寶桂局・穿上○

広西省桂林府で鑄錢コ頭重点通の背穿上に圈星を置く。錢径は大きいですが、記号はこの圈星(○)のみと思うがはたして。

23.79mm-3.87g



七四 寶桂局・○異書

コ頭重点通の背穿上に圈星(○)を置く。背満文の書き出しが長く大字になる。また背穿が縦長で、満寶も違いがある。

24.37mm-3.23g



七五 寶桂局・○下月

コ頭重点通の背穿上に圈星(○)・穿下に肉眼では仰月文らしきものが見える。不明確で偶然の産物かも知れない。

24.94mm-4.18g



七六 寶桂局・○潤縁

コ頭重点通の背穿上に圈星(○)を置く。潤縁は錢文が全体に小字になる。書式が明確で、収集家に一番好まれる。真鍮色が綺麗なものは少ない。

七七 寶桂局・無背

コ頭重点通で無背。七五番と同じで寶字が内郭の高さで収まる短寶。しかし背の満文は長く、書き出しに爪が無く奇妙。

23.92mm-4.36g



七八 寶晋局・無背

山西省太原府で鑄錢。マ頭単点通で製作は美錢。道光・咸豊と同じく存在は稀少。満文も簡単で、収集家に人気がある。

22.27mm-3.31g



七九 寶鞏局・無背

甘肅省蘭州府で鑄錢。コ頭重点通で広穿である。小型で製作は良く美錢である。同治無背の制錢では一番少ないかも。

19.20mm-2.29g

